

青少年委員会・JCスクール特別委員会担当副理事長方針

杉本 崇

我々JAYCEEは「明るい豊かな社会」の実現に向け様々な社会開発運動を展開してきました。その運動を今後も継承し、次世代へと強く引き継ぐことで、この中津川を確実に良い方向へと導かなくてはなりません。しかしながら、現在の中津川青年会議所では会員数の減少・経験年数の低下が問題となっており、規模、回数、影響力など今までと同様の運動は難しくなっています。今後も「明るい豊かな社会」の実現のために重要なのは、会員数を増やすことも当然ですが、それ以上にメンバー一人ひとりの質を高めることで、まちにとって価値ある団体として継続することだと考えます。

いつの時代も人は夢や志を持ち、それに向かって行動することが重要です。特に環境の変化が激しい現代社会においては、社会に対応するためにも、今まで以上に行動力が必要だと感じます。行動力を培うためには、目標に対し段階的な成功を繰り返し積むことが必要であり、成功した経験が次の目標に挑戦する行動に繋がると考えます。しかし、成功体験を十分に積まずに成長すると無気力が強くなり端から挑戦しなくなるため、大人になればなるほど行動力を培うのは難しくなります。だからこそ、社会に出る前の青少年期に、成功体験を多く積ませることが必要であり、我々には経験の機会を青少年に提供し成長へと導くことが必要だと考えます。

会員数の減少・経験年数の低下が問題となっている現在の中津川青年会議所において、メンバーの一人ひとりの成長が重要だと考えます。本年度入会した新会員には初年度より各委員会に所属し、まずは委員会活動にて各団体や市民の方、そして同じ青年会議所の仲間と接する中で、青年会議所の意義を感じていただくことが大切であり、それこそが成長の第一歩だと考えます。その上で、組織の一員として実働を担っていただき、自分の得意分野を活かすだけでなく、不得意分野にも果敢に挑戦することが、成長するために重要になると考えます。一方で、JCスクールとして同期の結束を固めていただき、JCライフを刺激しあえる仲間を築いていただきたいと思います。

これまで私は、JC生活の中でたくさんの経験をさせていただきました。副理事長として、人との繋がりを大切にし共に切磋琢磨することで、メンバー一人ひとりの質を高め、今後の青年会議所がこれまで以上に地域に必要な存在として継続・継承できるよう尽力して参ります。

<青少年委員会>

夢や志に向かって自ら立ち向かっていける行動力を培うために、成功を積み重ねる経験の機会を提供していただきたい。

<JCスクール特別委員会>

積極的に事業などに参加し、自分なりのJCの意義を見つけていただきたい。また、同期を中心に、生涯の仲間を築いていただきたい。